

本時の学習課題

相手の文章に説得力があるか吟味しよう

本校で育成する資質・能力

(学校) 主体性、コミュニケーション能力

1 日 時 令和7年10月17日(金) 13:30~14:20

2 学 年 第2学年1組 合計40名

3 場 所 新館2F 2-1 教室

4 単元について

○ 単元観

本単元は、学習指導要領国語分野〔知識及び技能〕(2)情報の扱い方に関する事項と、〔思考力・判断力・表現力等〕C読むことを受けて設定している。

1 〔知識及び技能〕

(2)情報の扱い方に関する事項

(2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。

イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。

2 〔思考力・判断力・表現力等〕

C 読むこと

(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。

オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。

単元を貫く問いは、「論理を捉えて 根拠を吟味し、説得力を高める」である。「吟味」とは、妥当性を評価することである。本単元でつけたい力は、文章の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えをまとめる力である。

本教材は、「序論・本論・結論」の三つの大きなまとまりにわけられる。序論で四つの問いを提示し、本論で一つ一つそれらに答えていく。本論では、問題の答えとともにそれぞれの答えの根拠を示している。そのうえで、結論でモアイやイースター島の問題を地球の問題に広げ、自らの主張を述べている。

記述の特徴として、事実を根拠として意見を述べていることである。文末の「発見」や「明らかになった」などの事実と、「～だろう」や「推定」などの意見を区別してとらえることができる。

また、環境問題についてはこれまでに学習をしてきており、身近に考えられる内容でもある。自分の知識や経験と結び付けて地球の未来について考えることができる教材である。

○ 生徒観

本学級では、話し合い活動を意欲的に行う生徒が多く、授業も比較的静かで集中しやすい環境で取り組むことができる。生徒の客観的な実態を把握するために、生徒アンケートを実施した(表1)。表1の①より、「国語の学習が好きだ」に肯定的な回答をしている生徒の割合はあまり高くないことが分かった。また、③より、「話し合いをすることが好きだ」に肯定的な回答をしている生徒の割合は、9割程度あり、高い割合を示している一方で、④より、「長い文章を読むことが好きだ」に肯定的な回答をしている生徒は半分ほどとかなり低かった。

⑤の「興味のある単元」について、「小説・物語文」の数値と比べ、本単元の「説明・評論文」に

興味を示す生徒の割合はかなり低かった。登場人物の心情を読み取ることよりも、筆者の主張を捉えることの方が苦手な生徒が多いことが考えられる。⑥の「国語の学習が好きだ」に対して肯定的な回答をしている生徒の理由が多かったのは、「自分の好きな分野の内容が楽しいから」であった。一方で否定的な回答をしている生徒の理由が多かったのは、「文章の読み取りが苦手」であった。⑤⑥より、感情移入やイメージのしやすい小説・物語文に比べて、実生活や体験と結び付けが難しいものがある「説明・評論文」は、内容が理解できず、苦手意識が強い生徒が多いと分析した。

表1 生徒アンケート

	本学級（肯定的評価）
①国語の学習が好きだ	62%
②国語の学習で自分の考えを書くことが好きだ	64%
③国語の学習で班の中で話し合いをすることが好きだ	94%
④長い文章を読むことが好きだ	51%
⑤興味のある内容について（1人三つ以内で選択） ※2 - 2含む 72人の回答状況	<ul style="list-style-type: none"> ・小説・物語文 (52.8%) ・漢字・ことば (45.8%) ・書写 (33.3%) ・詩・短歌 (30.6%) ・説明・評論文 (19.4%) ・古典、文法 (13.9%)
⑥ ①で回答した理由を書いてください（自由記述）	回答の要約（本学級：37人回答） 【①で「好きだ」と回答した生徒】 ○自分の好き・得意な分野が楽しいから ○本を読むのが好きだから ○話し合いの時に考えが深まるから 【①で「嫌い」と回答した生徒】 ○文章から読み取ることが苦手だから ○登場人物や筆者の主張がわからないから ○やっけていて何をしているか分からないから

○ 指導観

指導に当たっては、文章の構成や論理の展開について、班活動で意見を共有したり、表にまとめたりするなどして、文章の流れを視覚的に理解、気づかせられるようにする。また、筆者の意見と根拠を確認する時間と、筆者の主張に対する自分の意見を吟味する時間をわけることで、本文の内容の定着と思考の時間を十分に確保し、スモールステップで生徒の理解を図っていけるようにする。

本時では、多くの生徒が苦手とする説明文について、班の人の意見である客観的視点をもとに理解を深めさせたい。また、ほかの文章と比較する活動をふまえ、説得力のある文章の特徴（構成、言葉の工夫）について考えを深めさせたい。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをワークシートに表現した後ペアで発表させるスタイルをとる。

授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）	資質・能力	意欲・態度	知識・スキル		
		主体性 (自己を認識する力、 自分の人生を選択する力)	コミュニケーション能力 (表現する力)		
レベル1	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 speak) ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	(聞く) ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問することができる。	
レベル2	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 tell) ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	(聴く) ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて、内容を深めるために、質問ができる。	
レベル3	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 talk) ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	(訊く) ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。	
レベル4	やりたいことを自ら見つけ、分析し、(大人の力も借りながら)自分たちで実行できる。	少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。			

6 単元目標

- (1) 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。 【知識・技能】
- (2) 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりすること。 【思考・判断・表現】
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとすること。 【学びに向かう力、人間性】

7 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・論理の展開について粘り強く吟味し、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。

8 指導計画（全5時間）

教科・領域の本質的な問い

多様化する社会の中における、「適切な根拠のあり方」とはどのようなものだろうか

時間	学習課題 ねらい 指導内容	重点	記録	生徒の行動・思考	評価 〔評価方法〕
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">学習課題：文章を3つのまとまりに分けよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ねらい：全文を読み、文章全体の構成を捉えることができる。</div> <p>・本文をモアイに関する3つの観点に着目して整理することを通して、今後の学習への見通しを持たせる。</p>	態		・個人思考とグループワークを通して文章全体の構成に基準があることを気づく。	・「序論」「本論」「結論」がどのように分けられているか、自分の言葉で説明しようとしている。〔振り返り〕
単元を貫く問い 論理を捉えて 根拠を吟味し、説得力を高める					

2	<p>学習課題：「モアイの秘密」の答えを本文から探そう。</p> <p>ねらい：問いと答え、答えの根拠の関係を整理することができる。</p> <p>・本文は、問題提起の「序論」、問いについての答えが書かれている「本論」、そして筆者の意見の「結論」に分けられることを理解させる。（前時のまとめ） ・特に、「序論（問題提起）」と「本論（問いの答え）」の関係について理解させる。</p>	知	○	<ul style="list-style-type: none"> ・「序論」「本論」「結論」のそれぞれの内容と役割を整理する。 ・「モアイの秘密」を四つ「序論」から探し、その答えと根拠となる内容のつながりに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「四つの問い」と「答え」について、表に整理しようとしている。〔ワークシート〕
3	<p>学習課題：モアイは地球を救う？ 筆者は何を伝えているだろう？</p> <p>ねらい：筆者の意見について根拠をもとに説明することができる。</p> <p>・前時の内容をふまえ、「本論（根拠）」と「結論（意見）」の関係について理解させる。 ・筆者がどうして「モアイ」と「地球の未来」を比べたのか、表にまとめ、気づかせる。</p>	知	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本文から筆者の意見と前時で確認した「モアイの秘密の答え」がどのように結びついているか整理する。 ・グループで意見を共有し、筆者の意見とそれを支える根拠を捉える大切さに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠をふまえて、筆者の意見をまとめようとしている。〔ワークシート〕
4	<p>学習課題：わたし（たち）は編集者！ 筆者の文章を評価しよう！</p> <p>ねらい：他の文章と比較し、筆者の文章構成の工夫に気づくことができる。</p> <p>・筆者の文章を読み、どの部分が優れているか理解させ、文章に書かせる。 ・他の文章と比較し、筆者の工夫が文章にどのような効果を与えているか考えさせる。</p>	思	○	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの内容をふまえ、筆者の「意見」と「根拠」の結び付きが適していることに気づく。 ・他の文章と比較し、筆者の記述の効果について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の文章で優れている点を自分の言葉で書こうとしている。〔ワークシート〕
5 (本時)	<p>学習課題：学者Xからの挑戦状！ 彼の意見は正しいか？</p> <p>ねらい：モアイの文章と比較し、説得力のある文章について理解できる。</p> <p>・新しい文章を読み、筆者の意見が説得力のあるものになっているか考えさせる。 ・班で交流し、モアイのように、説得力のある文章がどのようなものか考えを深めさせる。</p>	思・態	○	<ul style="list-style-type: none"> ・モアイの文章と比較しながら、文章の欠点を考える。 ・説得力のある文章を書くためには、どんなことが大切か班で交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 説得力のある文章の特徴について班で交流し、まとめることができる。〔ワークシート、班活動〕

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- 新たな文章をモアイの文章と比較しながら意見の妥当性を考えることで、説得力のある文章の特徴について理解することができる。
- まとめ 説得力のある文章にするためには、意見に適した根拠を示すことが大切である。

(2) 本時の評価規準と生徒記述の例

説得力のある文章の特徴について班で交流し、まとめようとしている。

【学びに向かう力、主体性】

生徒の記述例

・私は、説得力のある文章には筆者の意見に適した根拠を示す必要があると思う。「モアイは語る」の文章では、筆者の「文明の崩壊は私たちと無縁ではない。」の意見に適した根拠（イースター島の人口増加が文明崩壊につながった歴史があり、現在の人口も増加している共通点があること）が示されている。このように読者に意見に関連する事実を示すことで、文章に説得力を持たせることができることがわかった。

(3) 準備物

- ・教科書・ワークシート・プリント（別の文章）・ホワイトボード

(4) 本時の流れ（5時間目／全5時間）

過程	<input type="checkbox"/> 学習活動 <input type="checkbox"/> 教師と生徒のやりとり	指導上の留意事項 (○) ・予想される生徒の反応 (・)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力 【評価方法】
1 課題設定 5分			
導入 ①	<input type="checkbox"/> 前回の学習の振り返りを行う <input type="checkbox"/> 教師 前回の授業で筆者の文章を評価してもらいました。前回評価したポイントを班で交流してみましょう。 <input type="checkbox"/> 班活動（1分） <input type="checkbox"/> 生徒が発表する。 <input type="checkbox"/> 生徒 ・分かりやすい構成 ・意見と根拠が書かれている <input type="checkbox"/> 教師 それでは今日の時間は、別の文章と比較して、説得力のある文章にはどんな特徴があるか考えていきましょう。 <input type="checkbox"/> プリントの配布（学者Xの文章） <input type="checkbox"/> 本時の見通しを持つ	<input type="checkbox"/> 前時の確認をすることで、つながりを持って学習に臨めるようにする。 <input type="checkbox"/> 班で確認させることで、自分だけでは気づけなかった意見に気づかせる。	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; color: red; width: fit-content; margin: 0 auto;">導入の工夫</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題 学習課題：学者Xからの挑戦状！彼の意見は正しいか？</p> <p>ねらい ねらい：モアイの文章と比較し、説得力のある文章について理解できる。</p> </div>			

2 学習の進め方を知る。5分			
導入②	<p>教師 今から配布したプリントの文章を読んで、意見を書いてもらいます。「モアイは語る」の文章と比較しながら、学者Xの意見は正しいかどうか考えてみましょう。なお、考えるポイントは以下の通りです。</p>	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">発問の工夫</div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 黒板に掲示（ワークシートにも載せる） ○評価のポイント ①説得力（誰が見ても納得できる文章になっているか） ②情報の正確性（記述してある情報は正しいか） ③わかりやすさ（読みやすい、理解しやすい文章になっているか） </div>			
3 文章の妥当性について考察する[20分]			
展開・前半	<p>教師 では、それぞれで文章を読み、考えたことをワークシートにまとめましょう。5分後に班で交流します。</p> <p><input type="checkbox"/> ホワイトボードのまとめ方を提示する。</p> <p>教師 これから個人で考えた意見をグループで共有をします。10分で今考えた意見を交流してください。共有した意見をホワイトボードにまとめてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 班活動を行い、ホワイトボードに記入する。</p>	<p>・どのように書いたらいいかわからない。</p> <p>○まずは疑問に思う部分を探すように指示をする。</p> <p>○気になった部分に線を引かせる。</p> <p>・考えがまとまっていない。</p> <p>○自分が気になった部分を発表し、班で交流する。</p>	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">話し合い活動</div>
4 説得力のある文章の特徴について考察する [10分]			
展開・後半	<p>教師 班で交流したことをふまえて、説得力のある文章の特徴を考えて、裏のホワイトボードに5分で記入してください。5分後に班ごとに発表してもらいます。</p> <p><input type="checkbox"/> 班で交流し、ホワイトボードに記入する。</p> <p>教師 1班から発表してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 各班の発表</p>	<p>班で出した意見をふまえて、ホワイトボードに意見をまとめることができる（観察）【思考・判断・表現】</p>	

5 まとめ、振り返り。〔10分〕		
ま と め ・ 終 末	□教師の説明を聞き、本時のまとめを行う。〔2分〕	説得力のある文章の特徴について、自分の言葉で振り返ることができる。(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】
	まとめ 説得力のある文章にするためには、意見に適した根拠を示すことが大切である。	
	□振り返りに、今日の授業で、できたことやわかったこと、今後に活かしたいことを記入し、振り返りを行う。	
<p>振り返り記述例</p> <p>他の人との交流を通して、自分で気づけなかった内容を書き直すことができた。相手に納得してもらおう文章を作るときには、完成した文章を読み直して、意見と根拠が結び付いているか確認することが必要。</p>		

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック (パフォーマンス評価)

尺度 (評点・レベル)	評価規準
B (おおむね満足できる)	二つの文章を比較し、説得力のある文章の特徴について自分の言葉で整理し、まとめようとしている。
C (努力を要する)	二つの文章を比較し、説得力のある文章の特徴について自分の言葉で整理しようとしている。

(5) 板書計画

<p>★ 振り返り</p> <p>① できた・わかったこと</p> <p>② できなかった・わからなかったこと</p> <p>③ 今後活かしたいこと</p>	<p>まとめ 説得力のある文章にするためには、意見に適した根拠を示すことが大切である。</p>	<p>三 説得力のある文章とは？</p>	<p>二 学者Xの意見は正しいか？</p> <p>○ポイント</p> <p>① 説得力 (誰が見ても納得できる文章になっているか)</p> <p>② 情報の正確性 (記述してある情報は正しいか)</p> <p>③ わかりやすさ (読みやすい、理解しやすい文章になっているか)</p>	<p>一 本文の評価できるポイント</p>	<p>単元 課題 ねらい</p>
--	---	----------------------	---	-----------------------	--------------------------